

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 森林整備地域活動支援交付金事業
-------------------	------------------------------

区分	番号	名 称					
章	2	自然とともに暮らすまち					
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり					
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出					
小分類	2	自然環境の保全と回復					
主要な施策	6	森林の保全					
事務事業番号	001	事務事業コード	22126001	事業開始年度	平成 1 4 年度	事業終了年度	平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	森林整備地域活動支援交付金
------	------	------------	---------------

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 森林の有する多面的な機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備を図る。
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 森林所有者等による森林施策の実施に不可欠な施策実施区域の明確化作業や歩道の整備などの事業に対して国、北海道とともに補助を行い、森林整備の推進を図っている。  平成 1 9 年度 交付金対象森林所有者 1 3 名 交付金対象面積 1 7 4 . 6 6 h a 平成 2 0 年度 交付金対象森林所有者 1 5 名 交付金対象面積 2 0 4 . 1 0 h a 平成 2 1 年度 交付金対象森林所有者 1 7 名 交付金対象面積 2 3 0 . 7 7 h a 平成 2 2 年度 交付金対象森林所有者 1 7 名 交付金対象面積 2 4 2 . 8 2 h a
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 森林施策箇所までの作業路の補修及び草刈りが実施され、歩道の整備がなされた。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 登別市森林整備地域活動支援交付金実施要領

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	交付金対象森林所有者	人	目標値	17	18	19	20	21
			実績値	17	/	/	/	/
	交付金対象面積	h a	目標値	242	243	244	245	246
			実績値	242	/	/	/	/

## 事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称 森林地域活動支援交付金	千円	607	0	0	0	0	0
	道支出金	名称 森林整備地域活動支援交付金	千円	304	911	843	843	843	2,529
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	303	305	282	282	282	846
合 計				1,214	1,216	1,125	1,125	1,125	3,375
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	166	170			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計	166	170				

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 適切な森林整備を図り、森林の有する多面的な機能の発揮については地球温暖化防止にもつながる重要な事業であり、市が支援を行うことは妥当と考える。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 意欲的に森林整備を進める森林所有者が増えている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 森林組合等関係機関と協力の上、森林整備を進める森林所有者に推進を働きかけて行く。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 本事業は、国が1/2、道が1/4を負担する事業であり、事務にかかる人件費が必要最低限となっていることから、これ以上のコストの削減は難しい。

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	地球温暖化防止のため、森林整備を進めることは重要なことと考える。
-----------	----------------------	----------------------------------

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）